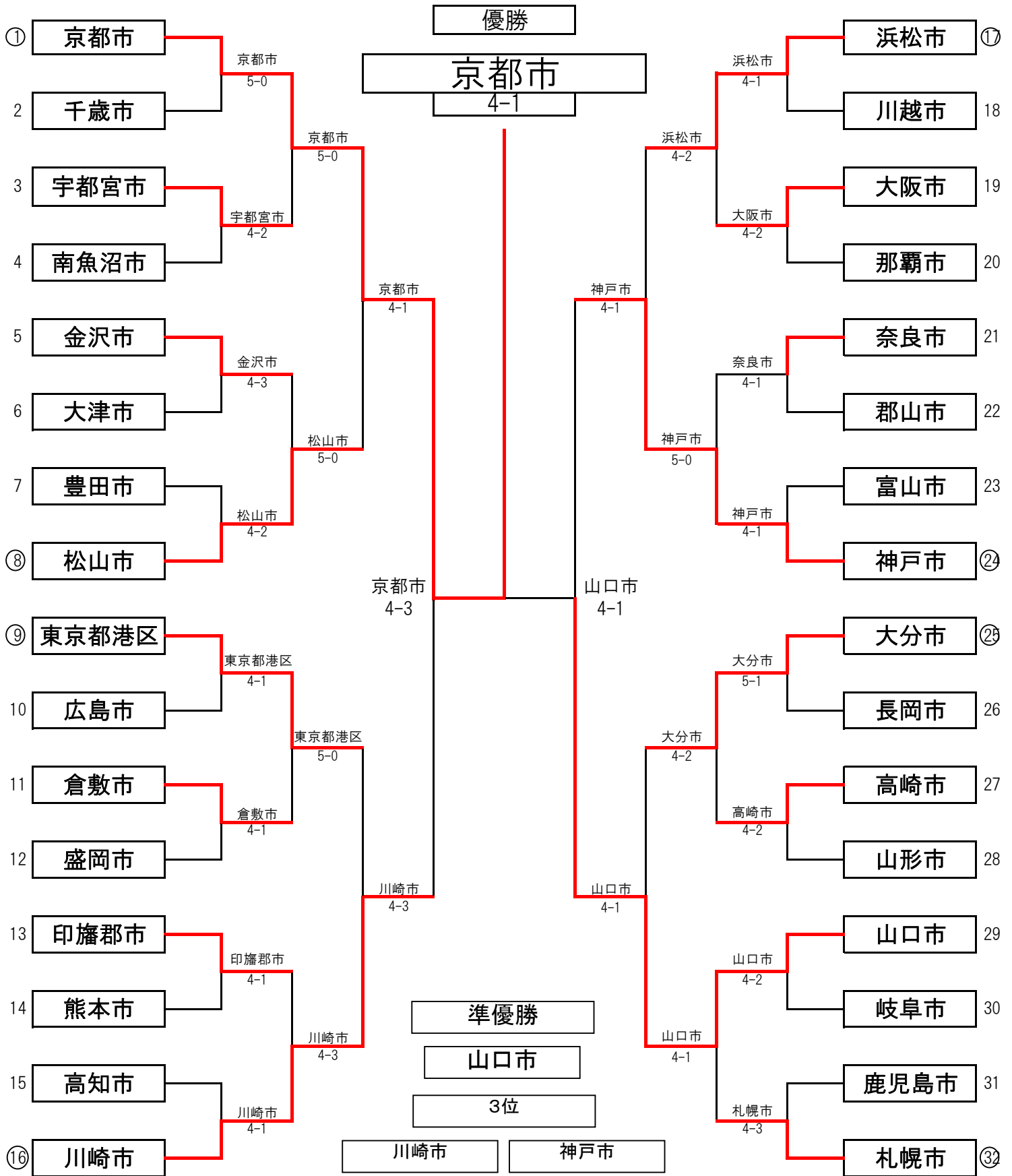


◆競技組合せ（本戦）



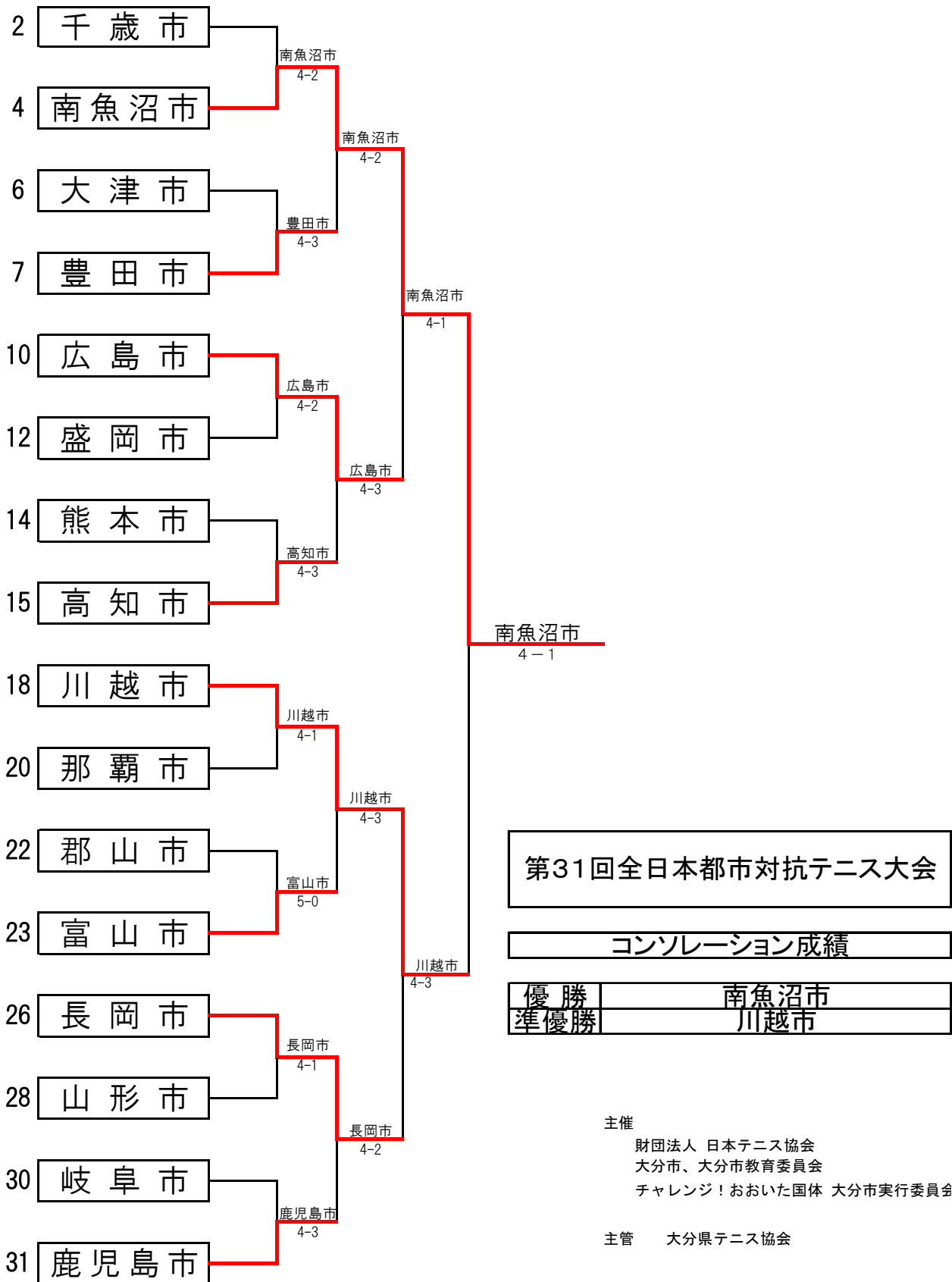
シード順位

- ① 京都市
- ② 札幌市
- ⑤~⑧ 川崎市・浜松市・松山市・大分市

- ③~④ 神戸市・東京都港区

◆競技組合せ（コンソレーション）

1回戦 2回戦 準決勝 決勝



宇都宮テニス協会  
監督：阿久津定之

### 1. 大会概要

- ・日 程 平成19年7月19日(木)～22(日)
- ・会 場 大分県大分市大分スポーツ公園テニスコート
- ・主 催 日本テニス協会、大分市、大分市教育委員会  
チャレンジ！おおいた国体大分市実行委員会
- ・主 管 大分県テニス協会
- ・後 援 大分県、大分県教育委員会、大分県体育協会、  
大分市体育協会

### 2. 試合方法

- ・本大会は32チームでトーナメントを行い、優勝を決定する。  
なお、7ポイントの対抗戦とし、4ポイント獲得したチームをその勝者とする。
- ・コンソレーションは、1回戦敗者16チームによるトーナメントを行い、優勝を決定する。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・各対抗の試合順序は下記により行うが、複種目はすべて行い、その後、勝敗決定後の試合は打ち切る。
  - 1) 一般女子複 2) 一般男子複 3) ベテラン1部男子複
  - 4) ベテラン1部女子複 5) ベテラン2部男子複 6) 一般女子単
  - 7) 一般男子単

### 3. 参加監督・選手

- 監督：阿久津定之 マネージャー：白石順子
1. 一般男子 佐藤政大 黒田貴臣 森本昌泰
  2. 一般女子 菊池千絵 藤井玉青 太田快子
  3. ベテラン1部男子 宮部正章 阿久津定之
  4. ベテラン1部女子 日賀野和枝 白石順子
  5. ベテラン2部男子 中山三男 橋本篤治

### 4. 試合結果

1回戦 宇都宮市 対 南魚沼市

|             |               |                  |               |
|-------------|---------------|------------------|---------------|
|             | 宇都宮市          | - 2              | 南魚沼市          |
| 1) 一般女子複    | 菊池千絵<br>藤井玉青  | 5 - 8            | 長井美沙紀<br>品田裕希 |
| 2) 一般男子複    | 佐藤政大<br>黒田貴臣  | 8 - 6            | 岩橋祐介<br>西山知広  |
| 3) ベテラン1部男子 | 宮部正章<br>阿久津定之 | 9 - 8<br>(7 - 5) | 谷口親夫<br>小林俊明  |
| 4) ベテラン1部女子 | 日賀野和枝<br>白石順子 | 8 - 6            | 本田弘子<br>笹川澄枝  |

|             |              |       |              |
|-------------|--------------|-------|--------------|
| 5) ベテラン2部男子 | 中山三男<br>橋本篤治 | 8 - 6 | 佐藤義美<br>井上良行 |
| 6) 一般女子     | 太田快子         | 1 - 8 | 品田優希         |
| 7) 一般男子     | 森本昌泰         | 打ち切り  | 岩橋祐介         |

## 2回戦 宇都宮市 対 京都市

|             |               |       |              |
|-------------|---------------|-------|--------------|
|             | 宇都宮市          | 0 -   | 京都市          |
| 1) 一般女子複    | 藤井玉青<br>太田快子  | 3 - 8 | 平 知子<br>伊藤和沙 |
| 2) 一般男子複    | 佐藤政大<br>黒田貴臣  | 4 - 8 | 松永浩気<br>佐野 光 |
| 3) ベテラン1部男子 | 宮部正章<br>阿久津定之 | 6 - 8 | 堤 勝弘<br>駒田晋吾 |
| 4) ベテラン1部女子 | 日賀野和枝<br>白石順子 | 1 - 8 | 土屋章子<br>堀江弘美 |
| 5) ベテラン2部男子 | 中山三男<br>橋本篤治  | 6 - 8 | 亀山久光<br>奥田 豊 |
| 6) 一般女子     | 菊池千絵          | 打ち切り  | 平 知子         |
| 7) 一般男子     | 森本昌泰          | 打ち切り  | 松永浩気         |

## 5. 所感

初戦の相手は、来年開催地枠で出場した新潟県の南魚沼市でした。再来年国体開催地ということもあって、一般男女は強化されていました。男子の岩橋選手はインカレ準優勝、女子の品田選手はインターハイ準優勝している選手でした。試合がもつれ一般男女のシングルスに勝敗がかかった場合には、とても勝つには厳しい相手でしたが、一般男子ダブルスの佐藤・黒田組が接戦をものにし、ベテランがなんとか3勝し初戦突破をすることが出来ました。どの試合も接戦ただけに、チーム一丸となって応援してくれたことが初戦を突破できた要因だと思います。また、南魚沼市はコンソレーションでは優勝したチームですので、そのチームに勝ったことはとても自信になりました。

続く、2回戦の相手は、第1シードの京都市で今大会優勝したチームでした。このチームも全日本トップクラスのとても素晴らしい選手が揃っていました。結果は0 - 5で負けてしまいましたが、とても良い経験になりました。

今回の組み合わせは、とても厳しい対戦となりましたが、ベスト16に残ったことは、来年に繋がる結果だったと思います。本当に選手の皆さんには、良く頑張ってくれたと、心から感謝しております。また、森本選手には出番がなく大変申し訳ありませんでしたが、全国レベルの試合を見て刺激になったと思います。

最後になりますが、大会関係者をはじめ、栃木県テニス協会及び宇都宮テニス協会の関係者の方々には、いろいろお世話になりました。今後とも上位を目指し努力していきますので、ご支援よろしくお願いたします。

